

共利群生のもりをめざして



和泉宗務支所 観音院 檀参



兵庫宗務支所 済徳寺 檀参

平成28年度 金剛峯寺植樹祭にあたり
総本山金剛峯寺 山林部長 山口文章
日本最古の植樹は紀元前三十年頃であったと
されています。

これは縄文時代の中～後期にあたり、農耕を
中心とした巨大集落が構成された時代です。
全国の遺跡調査により、当時の人々は食糧確保
のためウメやモモなどの優良果樹を植えたこと
がわかつています。特にクリは大型の果実をつけ
る品種を選別し、見事なクリ林が生まれました。

時代が進むにつれて植樹は建築用材生産を目的とした造林事業が中心となり、近年では緑化や地球温暖化対策の意義が強調されるようになりました。

高野山奥之院に屹立する天然記念物「奥之院大杉林」も数百年前に植樹されたものです。しかし、その目的は前述のものとは全く違います。高野山の植樹は真言密教の信仰環境の保全を目的としており、「森嚴護持」という言葉で連綿と伝えられてきました。



平成28年度 献木植樹祭 招待者



金剛峯寺山林部では森嚴護持の大道を歩むべく古くから植樹祭を厳修してまいりました。昨秋も献木植樹を行いました。
これからも金剛峯寺山林部は森嚴護持を目的として木を植え続けます。
一人でも多くの皆様のご理解とご協力をお願ひ申し上げます。

淨菩提院境内にて

参与会

「平成の高野聖」

現代社会に篤い大師信仰を伝える参与会員の多大なるご支援によつて、祖廟をとりまく大杉の管理を行つております。

本年度も樹齢を終えた靈木を3本伐採しました。ほとんどが先端に腐食がありますが、この伐採した靈木を使って五色腕輪念珠の製作を計画しております。

お大師さまとともに永年にわたつて祖山の靈氣に育まれた靈木が腕輪念珠として多くの皆様とともに「同行一人」の大道を歩んでいくと思うと胸が熱くなります。



奥之院新灯籠堂の前の危険木を伐採しました。



奥之院参道横の大杉を1人で囲みました。



主に和歌山県内の小学生を対象にこれから森林環境を理解し、自然を子ども達に体験してもらう緑育授業の一貫として林業教室を行つています。実際にノコギリを使つて木を伐つたり、木を使つたクラフト体験、巨木に触れるなどのメニューがあります。この林業教室を支えているのが高野山寺領森林組合です。

前にも紹介しましたが金剛峯寺をはじめ塔頭寺院の山林（寺領）の保育・管理を手がける組合で、祖山管理には山林部との連携が欠かせません。全国にある森林組合の中でも寺領を主にした森林組合は珍しいと思います。

林業教室

本山内局による 山林視察を実施

秋晴れの中、本山内局による山林視察を行いました。

普段あまり足を運ぶ機会がない山奥の寺有林を見学し、山林部長自ら森林管理の説明を行いました。



寺有林(立里)の視察



ツキノワグマに遭遇

前回号でご紹介した森林経営計画のための山林調査ですが、半分くらいを終了したころテレビニュースでもちらほら取り上げられていた「ツキノワグマ」、高野山でも目撃情報はありました。がまさか遭遇するとは思いませんでした。その距離は何と15mくらいです。真っ黒な姿を見たときは足が震えましたが、熊のほうが遠ざかっていく感じだったのでこちらもゆっくり後ずさりしてこの日は調査を打ち切りました。後になって写真を撮れば良かったと思いましたが、二度目の遭遇があつたとしてもそんな余裕はないと思います。

後日から熊よけスプレー・鈴・ホイッスルを各自携帯して入山しております。

また、3月から始めた山林調査の初日は雪が降って先行き不安でしたが、12月8日奈良県十津川村にある山林138.48HAの調査を最後に、晴天の中完了いたしました。

すべての境界には番号付の杭を打ちつけ、この日最後となる600番の杭を山口山林部長に打ち込んでいただきました。

私たちの身の回りの環境を知る手がかりになる生物を、「環境指標生物」といいます。この「ウメノキゴケ」は空気の汚れに敏感な植物と言われ、車の通行が多い大都会ではほとんど見られません。高野山では生き生きした「ウメノキゴケ」が数多く見られます。

しかし盆栽や庭木などに付着すると見た目が悪いので駆除されたりするそうですが、山内のどこにでもあると言うことは空気がきれいな証と言うことでちょっとうれしくなりました。



熊対策グッズと今回の調査で大活躍のGPS受信機。



岩に着生したウメノキゴケ 直径約10cm

高野山銘木の跡をたずねる

ウメノキゴケ

ちょっと
ええ話

「仏法僧と ブッポウソウ」

仏法僧とは三宝を意味し、文字通り仏・法・僧の三つのことです。仏は悟りを開いた人、法は仏の教え、僧は、仏の教えに従って悟りを目指して修行を行う僧侶のことです。この三つは、仏教を構成する上で、最も重要な要素であることから、三つの宝、三宝と呼ばれています。一方、森の中で夜間「ブッポウソウ」と鳴く」とから、仏・法・僧の三宝を象徴するとされた鳥がいます。



ブッポウソウ

この鳥の名はブッポウソウで、全身緑色でくちばし足は赤色、飛ぶと翼に青白色の斑が出ます。仏教の聖地の森林で観察され、その姿の美しいから靈鳥とされていましたが、昭和初期になつて、声の持ち主は、フクロウの仲間であるコノハズクであることがわかり、コノハズクが声のブッポウソウとなりました。一方、姿のブッポウソウは悪声で、ディズニー漫画のドナルドダックにそっくりといふ人もいます。見た目にとらわれること無く、中身を見る」との大げさを感じさせられます。



コノハズク

最後に、皆様からの献木志納は祖山環境の維持に大切に使わせていただいております。

今後とも引き続きご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

またお山の維持管理についての意見を要望などございましたらぜひお聞かせください。

この会報は献木による協力いただいたすべての方に、4月と9月の2回お届けさせていただいております。

また4月の会報には献木のパンフレット・振替用紙を同封させていただいております。

会報送付が不要な方は、山林部に連絡ください。

編集後記

平成30年版 予約受付開始〈限定1000本〉

献木一口
2,000円

なお、「回に五口の献木をいただきますと
カレンダーを選択いただけます。



高野靈木を使用した
干支カレンダーを作成しております。

平成30年版の予約を開始しましたので
お早めにお申し込みくださいますよう
お願い致します。



男女兼用

一口2,000円の記念品

ごしきうでわねんじゆ
高野靈木 五色腕輪念珠
高野靈木と五色の靈玉により、
腕輪念珠を作成いたしました。

会報バックナンバーはこちら

<http://koya-forest.jp/blog/>

山林部ブログ

検索

お問い合わせ

〒648-0211 和歌山県伊都郡高野町高野山132 金剛峯寺 山林部
TEL.0736-56-2016(直) FAX.0736-56-4640
E-mail sanrinka@koyasan.or.jp

※次号から会報の送付を停止する場合は、お手数ですがご一報ください。

『献木』お振込先

振替用紙をご送付致しますので、山林部までご連絡下さい。
郵便振替口座: 大阪 00930-6-61758
ゆうちょ銀行: ○九九支店 当0061758
加入者名: 宗教法人 金剛峯寺山林部